

平成25年度
県民アンケート調査
報告書

平成25年11月

奈良県

目次

第1章 調査の実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査票の配布・回収の状況	1
4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	1
5 回答者の状況	4
6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	10
第2章 調査結果の分析	13
1 県民の生活全般について	13
1-1 現在の暮らし向きの実感	13
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感	18
1-3 1年前と比較して暮らし向きが苦しくなった理由	23
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無	26
1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容	31
1-6 奈良県の住みやすさの評価	33
1-7 将来の奈良県での定住意向	38
1-8 将来的に奈良県に定住したくない理由	43
2 県民の身近な生活に関する項目の重要度・満足度について	46
2-1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位	46
2-2 県全体の重要度と満足度の関係	49
2-3 地域別の重要度と満足度の関係および経年比較	62
2-4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較	74
3 県民の生活に関する意識やニーズについて	92
3-1 観光振興について	92
3-2 雇用対策の推進について	110
3-3 文化振興について	130
3-4 安全・安心の確保について	142
3-5 回答者に関すること	156
資料 使用した調査票	163

第1章 調査の実施概要

1. 調査の目的

県民にとって身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「観光振興」、「雇用対策の推進」や「文化振興」等に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査の設計

- 調査地域 奈良県全域
- 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人
- 調査標本数 5,000人
- 標本抽出法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 郵送配付・郵送回収。調査期間内に、はがきによるお礼状兼督促状の配付1回
- 調査時期 平成25年5月20日～6月7日

3. 調査票の配付・回収の状況

- 調査票配付件数 5,000件 → $\left\{ \begin{array}{l} \text{回収数(率)} \quad 2,889\text{件 (57.8\%)} \\ \text{有効回答数(率)}_{*1} \quad 2,774\text{件 (55.5\%)} \end{array} \right.$

4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

(1) 標本抽出計画と集計母数（集計対象数）

今回の調査では、標本数（アンケート送付数）を県下39市町村の母集団構成比（人口比率）に応じて配分しました。ただし、人口が少ない町村については「目標精度15%、信頼度85%」を確保するための最低必要数を考慮して標本抽出数を決定しました。

	標本抽出計画				有効回答	
	母集団 ※2	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比
地域1(北部)	566,515	49.4%	2,296	45.9%	1342	48.4%
地域2(西部)	119,667	10.4%	488	9.8%	249	9.0%
地域3(中部)	309,402	27.0%	1,259	25.2%	713	25.7%
地域4(東部)	81,996	7.1%	389	7.8%	194	7.0%
地域5(南東部)	37,052	3.2%	375	7.5%	178	6.4%
地域6(南西部)	32,912	2.9%	193	3.9%	98	3.5%
	1,147,544	100.0%	5,000	100.0%	2,774	100.0%

*1「有効回答数」は、「回収数」から白票、調査期間中に県外へ転居された方の回答票、居住市町村不明・無回答の回答票など無効票115件を除いた集計母数対象件数。「有効回答率」は、調査票配付件数に対する「有効回答数」の比率。

*2平成24年3月31日現在の住民基本台帳登録人口（20歳以上）

(2) 地域別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計区分について

調査結果の集計・分析は、県民にとって身近な生活に関する事柄の重要度と満足度のほか、「観光振興」、「雇用対策の推進」や「文化振興」等について、「地域別」での傾向、回答者の年代や家族構成等の要素に基づく「ライフステージ別」での傾向、出生時から現在までの奈良県での在住状況に基づく「旧住民・新住民別」での傾向、就労地域に基づく「奈良での就労別」での傾向を明らかにすることを特に重視しています。地域別の集計については、39市町村個々の結果を39市町村間で比較することは困難なため、標本抽出計画で設定した6地域ごとに比較を行っています。また、ライフステージ別や旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計についても、以下のように集計区分を整理・集約して行っています。

地域の区分

地域1(北部)・・・奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2(西部)・・・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3(中部)・・・大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4(東部)・・・桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村
地域5(南東部)・・・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6(南西部)・・・五條市・野迫川村・十津川村

ライフステージの区分と区分の設定条件

若者・・・20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦・・・20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期・・・小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
教育期前期・・・小・中学生、高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者
教育期後期・・・専門学校生・短大生・予備校生・大学生（院生）の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者・・・65歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦・・・65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

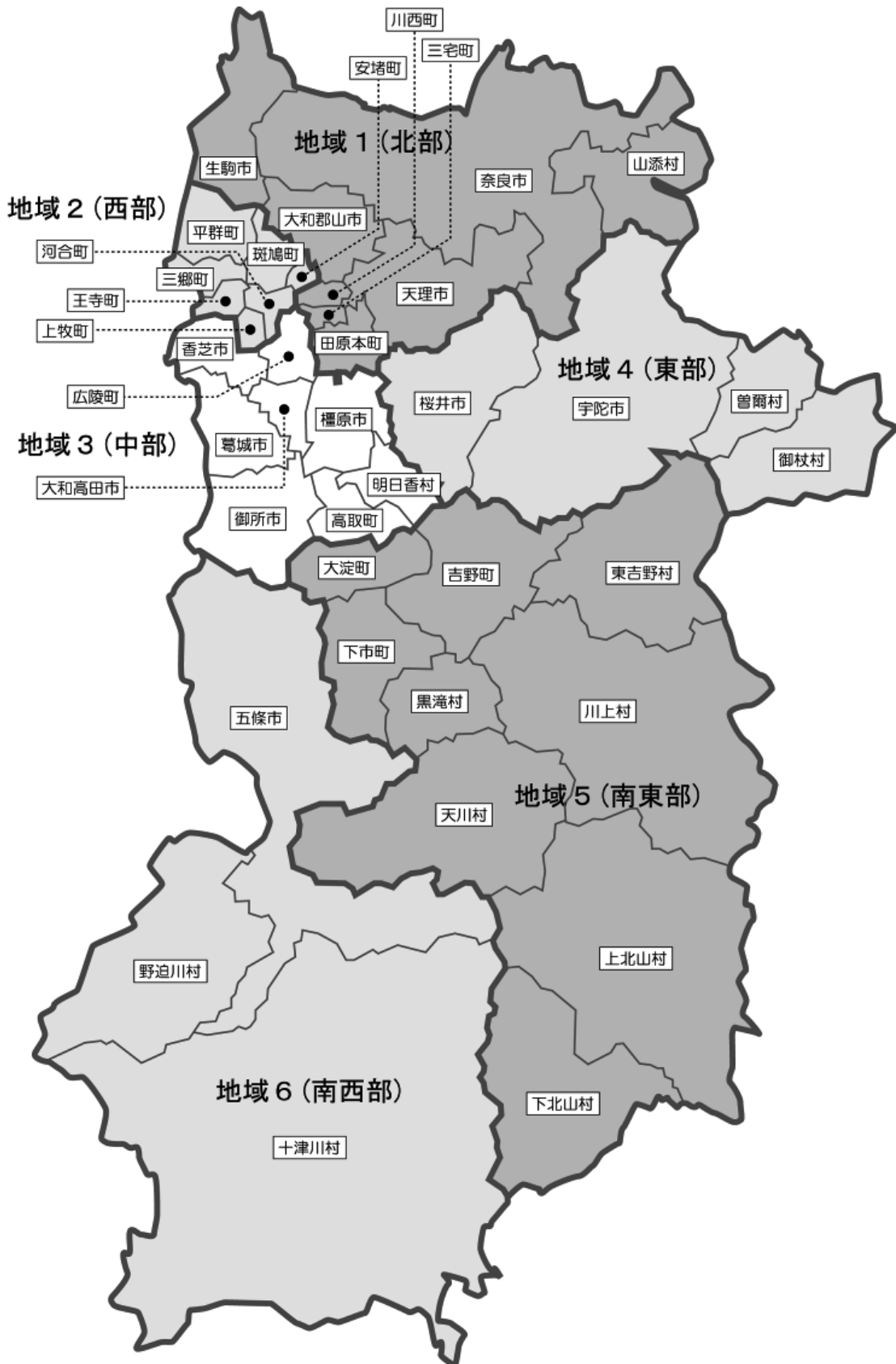
旧住民・新住民の区分と区分の設定条件

旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)・・・生まれたときから奈良県に住んでいる回答者
新住民(奈良県に新しくきた人)・・・生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者

奈良での就労の区分と区分の設定条件

奈良県外で働いている人・・・就労場所が奈良県外の回答者
奈良県内で働いている人・・・就労場所が奈良県内の回答者

【県地域区分図】



(3) 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果（標本測定値）から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本（調査対象）抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査で標本（調査対象）を変えて行った場合、100回中95回までは同様の結果が得られる（5回程度は異なる結果が出ることは許容される）と考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} + \frac{P(1 - P)}{n}}$$

ε：標本誤差

N：母集団数（本調査では1,147,544人）

P：標本測定値（50%のときに最大）

±1.96：信頼度95%の時の信頼係数

n：標本数（回収数。本調査では有効回答2,774件）

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「ε（標本誤差）=1.86」（小数第3位四捨五入）という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は±1.86%（48.1%～51.9%）の範囲内であると考えても間違いがないといえます。

5 回答者の状況

属性ごとの有効回答者数と構成比は以下の通りです。

5-1 県全体

(1) 地域

地域名	当該市町村	H25		H24	
		有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
地域1(北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町	1,342	48.4%	1,290	48.0%
地域2(西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町	249	9.0%	253	9.4%
地域3(中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町	713	25.7%	659	24.5%
地域4(東部)	桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村	194	7.0%	215	8.0%
地域5(南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	178	6.4%	190	7.1%
地域6(南西部)	五條市・野迫川村・十津川村	98	3.5%	78	2.9%
合計		2,774	100.0%	2,685	100.0%

(2) 性

	H25		H24	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
男性	1,308	47.2%	1,186	44.2%
女性	1,464	52.8%	1,495	55.7%
無回答	2	0.1%	4	0.1%
県全体	2,774	100.0%	2,685	100.0%

(3) 年齢

1) 10歳区分

	H25				構成比	H24	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20歳代	141	63	78	0	5.1%	192	7.2%
30歳代	354	159	195	0	12.8%	374	13.9%
40歳代	435	189	246	0	15.7%	470	17.5%
50歳代	477	223	254	0	17.2%	470	17.5%
60歳代	679	346	333	0	24.5%	640	23.8%
70歳代以上	680	325	354	1	24.5%	535	19.9%
無回答	8	3	4	1	0.3%	4	0.1%
県全体	2,774	1,308	1,464	2	100.0%	2,685	99.9%

2) 5歳区分

	H25				構成比	H24	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20～24歳	54	23	31	0	1.9%	92	3.4%
25～29歳	87	40	47	0	3.1%	100	3.7%
30～34歳	150	65	85	0	5.4%	155	5.8%
35～39歳	204	94	110	0	7.4%	219	8.2%
40～44歳	247	113	134	0	8.9%	234	8.7%
45～49歳	188	76	112	0	6.8%	236	8.8%
50～54歳	238	108	130	0	8.6%	253	9.4%
55～59歳	239	115	124	0	8.6%	217	8.1%
60～64歳	346	170	176	0	12.5%	348	13.0%
65～69歳	333	176	157	0	12.0%	292	10.9%
70歳代以上	680	325	354	1	24.5%	535	19.9%
無回答	8	3	4	1	0.3%	4	0.1%
県全体	2,774	1,308	1,464	2	100.0%	2,685	100.0%

(4) 婚姻状況

	H25				構成比	H24	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
未婚	337	181	156	0	12.1%	380	14.2%
既婚	2,078	1,028	1,049	1	74.9%	2,019	75.2%
離婚・死別	328	86	242	0	11.8%	272	10.1%
無回答	31	13	17	1	1.1%	14	0.5%
県全体	2,774	1,308	1,464	2	100.0%	2,685	100.0%

(5) 世帯構成

	H25		H24	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
単身	245	8.8%	198	7.4%
夫婦のみ	731	26.4%	714	26.6%
2世代家族	1,360	49.0%	1,272	47.4%
3世代家族	358	12.9%	403	15.0%
その他	61	2.2%	79	2.9%
無回答	19	0.7%	19	0.7%
県全体	2,774	100.0%	2,685	100.0%

(6) 勤め先の所在地

	H25		H24	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
県外(奈良県外で働いている人)	409	14.7%	392	14.6%
現在のお住まいの市町村(奈良県内で働いている人)	632	22.8%	663	24.7%
県内の他の市町村(奈良県内で働いている人)	417	15.0%	383	14.3%
無回答	31	1.1%	15	0.6%
非該当	1,285	46.3%	1,232	45.9%
県全体	2,774	100.0%	2,685	100.0%

(7) 子どもの成長段階(複数回答) *1

	H25		H24	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
3歳以下	184	6.6%	180	6.7%
4歳以上で小学校入学前	140	5.0%	131	4.9%
小学生	316	11.4%	318	11.8%
中学生	214	7.7%	211	7.9%
高校生・高専生	212	7.6%	246	9.2%
専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)	237	8.5%	261	9.7%
その他	-	-	115	4.3%
非該当	1,471	53.0%	1,223	45.5%
県全体	2,774	100.0%	2,685	100.0%

(8) ライフステージ(複数回答) *2

	H25		H24	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
若者	137	4.9%	156	5.8%
夫婦	276	9.9%	259	9.6%
育児期	234	8.4%	215	8.0%
教育期前期	431	15.5%	471	17.5%
教育期後期	124	4.5%	219	8.2%
単身高齢者	131	4.7%	82	3.1%
高齢者夫婦	433	15.6%	319	11.9%
非該当	1,008	36.3%	964	35.9%
県全体	2,774	100.0%	2,685	100.0%

(9) 旧住民・新住民別

	H25	
	有効回答数	構成比
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)	1,381	49.8%
新住民(奈良県に新しく来た人)	1,314	47.4%
無回答	79	2.8%
県全体	2,774	100.0%

(注)*1 平成25年度調査より「高専生」「予備校生」を追記、「その他」を削除した。
 *2 「単身高齢者」、「高齢者夫婦」でいう「高齢者」とは、65歳以上の回答者を指す。
 65歳以上の実有効回答者数は1,013人、構成比は36.5%である。

5-2 就業者と現在「家事専業・家事手伝い」または「無職」の回答

(1) 県全体

	H25	
	有効回答数	構成比
就業者(「家事専業・家事手伝い」、「無職」、「学生」、「その他」「無回答」以外)	1,489	53.7%
「家事専業・家事手伝い」または「無職」	1,102	39.7%
その他(「学生」、「その他」)	77	2.8%
無回答	106	3.8%
県全体	2,774	100.0%

(2) 属性別

1) 性・年齢別

① 10歳区分

	就業者					「家事専業・家事手伝い」または「無職」				
	有効回答数				構成比	有効回答数				構成比
	男性	女性	無回答			男性	女性	無回答		
20歳代	96	45	51	0	6.4%	25	6	19	0	2.3%
30歳代	280	145	135	0	18.8%	68	11	57	0	6.2%
40歳代	337	175	162	0	22.6%	87	11	76	0	7.9%
50歳代	349	197	152	0	23.4%	120	23	97	0	10.9%
60歳代	306	194	112	0	20.6%	342	139	203	0	31.0%
70歳代以上	119	78	40	1	8.0%	457	207	250	0	41.5%
無回答	2	1	1	0	0.1%	3	1	2	0	0.3%
合計	1,489	835	653	1	100.0%	1,102	398	704	0	100.0%

② 5 歳区分

	就業者					「家事専業・家事手伝い」または「無職」				
	有効回答数			構成比	有効回答数			構成比		
	男性	女性	無回答		男性	女性	無回答			
20～24歳	33	13	20	0	2.2%	5	1	4	0	0.5%
25～29歳	63	32	31	0	4.2%	20	5	15	0	1.8%
30～34歳	115	60	55	0	7.7%	33	4	29	0	3.0%
35～39歳	165	85	80	0	11.1%	35	7	28	0	3.2%
40～44歳	194	107	87	0	13.0%	47	5	42	0	4.3%
45～49歳	143	68	75	0	9.6%	40	6	34	0	3.6%
50～54歳	188	101	87	0	12.6%	47	5	42	0	4.3%
55～59歳	161	96	65	0	10.8%	73	18	55	0	6.6%
60～64歳	187	112	75	0	12.6%	147	52	95	0	13.3%
65～69歳	119	82	37	0	8.0%	195	87	108	0	17.7%
70歳代以上	119	78	40	1	8.0%	457	207	250	0	41.5%
無回答	2	1	1	0	0.1%	3	1	2	0	0.3%
合計	1,489	835	653	1	100.0%	1,102	398	704	0	100.0%

2) 婚姻状況

	就業者		「家事専業・家事手伝い」または「無職」	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
未婚	244	16.4%	59	5.4%
既婚	1,118	75.1%	863	78.3%
離婚・死別	122	8.2%	160	14.5%
無回答	5	0.3%	20	1.8%
合計	1,489	100.0%	1,102	100.0%

3) ライフステージ (複数回答)

	就業者		「家事専業・家事手伝い」または「無職」	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
若者	94	9.8%	23	3.3%
夫婦	172	17.9%	99	14.1%
育児期	160	16.7%	68	9.7%
教育期前期	312	32.5%	108	15.4%
教育期後期	97	10.1%	27	3.8%
単身高齢者	19	2.0%	87	12.4%
高齢者夫婦	106	11.0%	290	41.3%
合計	960	100.0%	702	100.0%

4) 地域別

	就業者		「家事専業・家事手伝い」または「無職」	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
地域1(北部)	719	48.3%	549	49.8%
地域2(西部)	135	9.1%	105	9.5%
地域3(中部)	373	25.1%	283	25.7%
地域4(東部)	112	7.5%	67	6.1%
地域5(南東部)	97	6.5%	65	5.9%
地域6(南西部)	53	3.6%	33	3.0%
全体	1,489	100.0%	1,102	100.0%

5) 旧住民・新住民別

	就業者		「家事専業・家事手伝い」または「無職」	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
旧住民	809	54.3%	484	43.9%
新住民	649	43.6%	585	53.1%
無回答	31	2.1%	33	3.0%
合計	1,489	100.0%	1,102	100.0%

6) 勤め先の所在地（奈良での就労別）

	就業者	
	有効回答数	構成比
奈良県外で働いている人	409	27.5%
奈良県内で働いている人	1,049	70.4%
無回答	31	2.1%
合計	1,489	100.0%

6. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

- 経年比較、前年度比較を行った図表にて、四捨五入等の関係上、本報告書に記載した数値と昨年度以前の報告書に記載した数値が一致しない場合があります。
- 問1～問8、問10～問50（設問番号は、巻末「参考資料 使用した調査票」参照）は百分率（%）による集計で、小数第2位を四捨五入しています。単数回答設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 問9は加重平均（点）による集計で、小数第3位を四捨五入しています。加重平均は、「（〈選択肢の回答者数〉×〈選択肢ごとの配点（5点～1点）〉）÷〈無回答者を除く当該設問の回答者数〉」により求められます。

図表 加重平均の集計結果の見方

選択肢の配点		1点	2点	3点	4点	5点
選択肢 設問番号・	問9-① 重要度	まったく重要 ではない	さほど重要 ではない	どちらとも いえない	かなり 重要	きわめて 重要
	問9-② 満足度	ほとんど 満たされていない	あまり 満たされていない	どちらとも いえない	かなり 満たされている	十分 満たされている

- 問9の重要度と満足度の関係を指標化し分析するため、「ニーズ得点」を算出しています。ニーズ得点は、「〈重要度〉×〈6－満足度〉」により求められます。ニーズ得点は重要度が高く、満足度の低い項目ほど高くなります（色の濃いエリア）。

図表 重要度と満足度からみたニーズ得点の配点

